

脈々 高蔵魂<sup>スピリッツ</sup>

(創立者 市邨芳樹のことば)

「其の意気、其の信念」

親友は支える力であり、それに恵まれることは幸いだが、師と仰ぐ人との邂逅<sup>かいこう</sup>は、それに倍する。

師に認められたい、誉められたいと自ずと気持ちが動くから、不眠不休も苦にならない。ふとかけられた一言が、もっと深くもっと広くと学ぶ意欲を湧き起こし、思ってもいなかった自分を生み出す。

師との出会いとは、まさに「人が人に惚れる」ことだ。

「君と僕とは明治の馬鹿<sup>かたぎ</sup>氣質なり」・・・「先生の大愚にあやかりたい」 (「藪椿」12-22)